

令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



所在地 佐世保市萩坂町 1 7 1 5 番地
校長 藤田 律子
児童数 1 3 9 名
学級数 1 0 学級



1 テーマ ふれあいの中で、豊かな心を持ち、たくましく生きぬく児童を育成する

2 目的

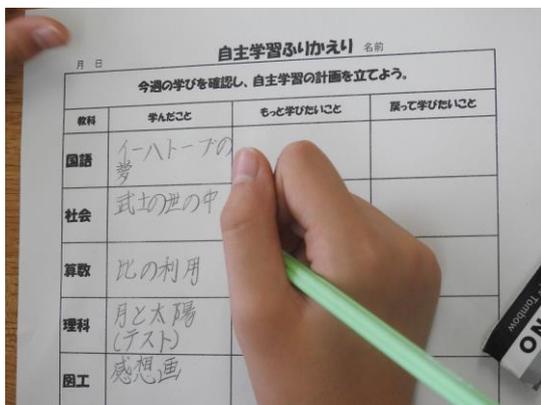
- (1) 児童の実態を分析し、課題を明確にした上で個に応じた指導の充実を図り、確かな学力の向上を目指す。
- (2) 地域や関係機関との連携・交流や体験活動等を通して、多くの人とのかかわりの中で、宮小学校を誇りに思い、故郷を愛する児童を育成する。
- (3) 「あいさつ運動」「読書活動」「体験学習」などを通して、児童の豊かな心を育てるとともに、「学校が楽しい」と喜んで登校するような明るい学校づくりを推進する。
- (4) 基本的な生活習慣に関する指導を充実させることで、健康に対する関心を高めるとともに自らの生活習慣を見直し、自己管理のできる児童の育成を図る。

3 実践内容

(1) 基礎学力の向上と指導法の改善

① 学力検査の実施（4月、1月 年間2回）

本校児童の課題を明確にし、個に応じた指導を充実させるために、国語と算数の学力調査を4月と1月の2回実施した。本年度は、「主体的な学びの充実」を目指し、朝のスキルタイムの時間に自主学習計画の時間を設けた。年度末のアンケートでは、84%の児童が自主学習に取り組んでいることがわかり、取組の効果が見られた。



自主学习ふりかえりカード（6年生）

② 一人一台端末を活用した授業づくり

一端末を効果的に活用した授業づくりを行った。2年生は、算数科の授業で自分の考えを端末に入力し、教え合い活動を行った。1年生は、保幼小連携の取組の中で、一人一台端末を用いて絵を描く活動を行った。



一人一台端末を用いた幼稚園児と1年生の交流

③ 児童・保護者・家庭への啓発活動

「主体的な学びの確立」を目指し、「家庭学習がんばりカード」の見直しを行った。「(む) 難しい問題(発展問題にチャレンジ)」「(て) : 定着(もっと練習)」「(き) : 基礎(苦手なことにもチャレンジ)」のレベルを設定し、子どもが自己のレベルに応じた家庭学習を選択できるようにした。



家庭学習がんばりカード (高学年)

名前 ()

音読 ◎上手 ○まあまあ △もうすこし

【自主学习】

(む) : 難しい問題(発展問題にチャレンジ) (て) : 定着(もっと練習) (き) : 基礎(苦手なことにもチャレンジ)

すること	音読	国語	算数	自主学习	時間分	お家の人のサイン	先生の印
／ (月)	()			()	分		
／ (火)	()			()	分		

(2) ふるさとに根ざした活動の推進

① 地域の史跡巡り・伝統工芸について学ぼう

4年生は、三川内焼の絵付け体験を行い、三川内焼への理解を深めた。6年生は、地域の史跡や酒造、無窮洞についての学習を市教育会宮支部長さんと連携して行い、地域の歴史や文化についての理解を深めることができた。



酒造見学



三川内焼絵付け体験

② 福祉学習「アイマスク体験」「車いす体験」「バリアフリーに関する学習」

3年生は、社会福祉協議会と連携し、福祉学習に取り組んだ。校外で車いすに乗る活動を行い、目が不自由な人の思いや苦勞を理解することができた。



社会福祉協議会と連携した授業



車いす体験

③ 「米作り体験」

5年生による「米作り体験」を地域の関係団体と連携して実施した。活動を通して、生産者の努力や苦勞を知ることができた。また、体験活動への感謝の気持ちを伝えることをねらいとし、地域の方をお招きしておにぎりパーティーを開いた。



田植え



おにぎりパーティー

(3) 豊かな心を育む活動の推進

① 食育活動の推進

1・2年生は、大根、キュウリ、ニンジン、サツマイモの野菜づくりを行った。栽培活動を通して、収穫の喜びや栽培の苦勞を体感することができた。



② 読書活動の推進

読書に対する興味・関心を高めるために図書ボランティアの方々と本校職員による朗読劇や図書委員会によるビブリオバトルを行った。



学校司書による読み語り



読み語りの皆様

③ 音楽体験活動の実施

佐世保市ライオンズクラブ主催のコンサートを実施した。6年生は、佐世保三曲協会の方々をお招きし、箏や尺八の体験教室を行った。活動を通して、音楽のすばらしさにふれることができた。



スクールコンサートの様子



箏・尺八体験教室